

令和7年度 大阪府立堺聴覚支援学校 第2回 学校運営協議会

日時 ; 令和7年12月3日(水) 9:45~11:45

場所 ; 大阪府立堺聴覚支援学校 会議室

出席者 ; 校長 甲斐 俊夫

【協議会委員】 井坂 行男 (大阪教育大学教育学部 教授) オンライン参加

山下 真由美 (堺市立百舌鳥支援学校 校長)

早川 良次 (シャープ特選工業株式会社 社長)

廣瀬 宜礼 (大阪河崎リハビリテーション大学 講師)

田中 與志男 (堺ろう学校同窓会 会長)

古田 春奈 (本校PTA 会長)

【事務局】 教頭・事務長・首席・幼稚部主事(欠席)・小学部主事・中学部主事

【傍聴者】 無し

1 開会

2 学校長より挨拶

3 校内見学

・ 中学部 → 小学部 → 幼稚部

4 協議

(1) 令和7年度学校経営計画(進捗状況)について(校長より)

【委員からの主な意見・質問及びその回答】

1. 地域に関われた安全安心な学校づくりについて

- 学校見学でデフリンピックや万博をテーマにした調べ学習など、子どもたちが興味をもって取り組む様子が見られたことがよかった。

2. 確かな学力の育成について

- 大阪市の社会福祉法人等は定期的に保育所が高齢者施設を訪問したり、小学校の体育館やお寺等を利用して頂き、地域住民が参加する行事を行っていたりと、様々な交流活動が広がっている。教育庁からご依頼頂き、特例子会社は、就労支援アドバイザー事業を担当させて頂き、仕事への向き合い方やマナー、コミュニケーションの大切さなどを伝える講演を通して、先生、保護者や生徒の方々と交流し、生徒の成長・能力育成をサポートする取組を行っている。

• 居住地校交流について

子どもは勇気を出して地域の学校に参加している。全く分からない場所に急に入り、嫌な思いを経験することもあるので、事前に相手校と受け入れ準備をすることや参加後のフォローなども含め、安心して交流ができるようにサポートをしてもらいたい。

→いただいた意見を受けとめ子どもたちが継続的に取り組めるような配慮やフォローに努めて

いきたい。

3. 支援教育の専門性向上について

- 特になし

4. 聴覚障害教育のセンター的機能について

- 特になし

5. 働き方改革について

- デジタル化について。堺市教育委員会では統一したテトラを使ってデジタル配信できるものがあるが、大阪府ではどうか。

→現在は Google クラスルームを使って配信している。緊急時に本校はマチコミを採用している。来年度から大阪府で統一したシステムを導入する予定となっている。

(2) 学校教育自己診断について

- 学校では、施設設備の点検の基準というものはありますか。

→学校で作成している点検表を使って、教職員が定期的に施設設備の点検をしている。

- 学校ホームページについて。児童、生徒が一人 1 台端末を使って記事を発信するようなことはありますか。

→体育祭、文化祭以外にも絵本を届ける活動やペットボトルのキャップ集めのボランティア活動の記事なども配信している。

- アンケートなどをウェブにすると回答率が下がる傾向があるが大丈夫でしょうか。

→回答率が下がりやすいことは危惧しているが、回答状況を確認しながらお願いしていきたい。

(3) その他、ご意見・ご質問

- 同窓会総会が来年度の 5 月 24 日に開催することが決定した。今後いろいろと準備を進めていきたい。会場は堺聴覚支援学校をお借りしたい。

5 事務局より連絡

6 閉会の挨拶（校長より）